

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28年 1月 2日			
所属学部・研究科	文学 研究科 大学院1年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学 リノ校 (国名:アメリカ)			
所属学部・学科等名	<b>IELC (Intensive English Language Center)</b>			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 27年 8月 20日～平成 27年 12月 11日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: F1 VISA			
	ビザ申請先: 米国大使館(大阪)			
	取得方法, 提出書類: パスポート、派遣大学からの入学許可証(I-20)、オンラインでの面接予約証明書、SEVIS の支払い証明書などこれらの書類を持参し、大阪の大使館で面接。			
	手続きに要した日数: 約1週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 27年 8月 14日			
経路	関西国際空港→韓国→シアトル→リノ空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	到着後、5日ほどしてオリエンテーション。 2日間に渡って入学前の試験と、学校内の施設の案内ツアー。学生書の交付、銀行口座の説明など。 試験はリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングとある。			
帰国年月日	平成 28年 1月 28日			
経路	リノ空港→ロサンゼルス→香港→福岡			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	95万7千	円	
	内訳	渡航費	22万	円
		保険料	1万	円
		教科書代(学費)	7000	円
		宿舍費	24万	円
		食費	18万	円
		その他 ( 旅行費 )	20万	円
( 娯楽費 )	10万	円		
( 費 )		円		
<b>3. 授業について</b>				

2015年 秋学期	8月 20日 ~	12月 11日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	英語の4技能の習熟度別の授業に加えて、Integrated Skills Class という4週間に一回内容が変わるクラスもある。これは選択制なので、普段とは違うレベルの人とも同じクラスになることもあり、いい刺激となる。	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
学術面に関する後輩へのアドバイス	良い成績を取って、レコメンデーションを貰えば、次のセメスターから、アカデミックの授業をとれるので、それを目標にすればよい。	
<b>4. 生活等について</b>		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (インターナショナルハウス )	
住居の広さ	わかりません	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (約12人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 (洗濯機、乾燥機、食器、調理器具、ドライヤー、庭、こたつ)	
住居費	1ヶ月当たり \$400(現地通貨)	約 40,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
留学先での住居全般に関するアドバイス	インターナショナルハウスであれば、必然的に多くの人と知り合いになれる。また日本人も何人か住んでいるので、オススメ。自分で料理できることが自分の中では大きかった。好きな時に好きなものを作るので、日本の食事が恋しいとは思わなくて楽だった。特に一番大きな 1110 Evans Guys house では毎週金曜日にいろんなイベントがあるので、そこに住んでいれば、いろんな企画にも携わることができる。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
掛け金は	5ヶ月 6万7千 円 補償額 死亡 1000万 円, 入院1日 円 その他 ( )	
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	MMR, 4種混合、血液検査、 費用は詳しく覚えていないが、およそ15万円ほど。 西条にあるときわクリニックで全て受けることができた。	

日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情（日本と比較して）	かなり高額。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	国柄なのか、ハウスメイトはあまり掃除をしない。なので、自分の使うスペースはしっかりと自分で綺麗に保っておいたほうがよい。 また虫歯治療などはかなり高額になるので、渡航前に直しておくほうが無難である。	
<b>(3) 危険を感じた地域、状況</b>		
線路を挟んだ南側はかなり危険だと聞いた。特に夜などはホームレス、ドラッグでハイになっている人も多いので、そこらには近寄らないようにするか、誰かと一緒に出歩いていた。		
<b>(4) その他生活等に関して参考となる事項</b>		
基本的にリノの街は安全な部類に入るので、そこまで警戒しすぎる必要はないと思う。また大学のサービスでキャンパスエスコートというものがあり、夕方6時ごろから朝の3時くらいまで大学から家まで、呼べば無料で送迎をしてくれるサービスもあるので、友達の家で夜遅くまでいて、帰るときに危険を感じるようであれば、ぜひ利用すると思う。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29年 3月	(当初の卒業予定年月 平成29年3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他（具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	修士課程を終えて、専修免許を取得し、教員採用試験を受験するつもりである。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	特になし。	
<b>6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細（出版社、URL等）	コメント
<b>7. 自由記述（後輩へのアドバイス等）</b>		
今回が特に異例だったようですが、日本人が広島大学も含め、30人近くIELCに所属していた。クラスの半分以上が日本人ということもあり、なかなか自分が思ったような留学生活ではなかったかもしれない。日本人とも仲良くするのももちろん大事なのだが、その距離感を考え、英語を積極的に使う、外国人と知り合うという目的をしっかりとっていないと、半年、1年間はあっという間に過ぎていってしまうので、気をつけて行って欲しいと思う。		

## 学習の概要に関するレポート

私は、ネバダ大学リノ校 Intensive English Language Center (IELC) に USAC プログラムを利用して留学しました。この IELC というのは留学生が、ネバダ大学リノ校やその他のアメリカの学校等に入学するための英語力をつけるために通う大学付属の語学学校です。大学に通うための学校なので、Essay の書き方や、英語の本の読み進め方、ノートのとり方、短いスピーチなどの技術習得をはじめ、TOEFL でどのようにすると高得点がとれるのかというようなことも学びます。本年度は特に日本人が多く、法政大学、長崎外国語大学、NIC という東京の学校の修了生が私たち広島大学と同様に交換留学生として大学に来ていました。クラスのほとんどは日本人が半分を占めていたので、日本人がいると言葉が詰まったとき、日常会話などは日本語で話してしまうものです。英語の上達させるためには極力英語で話すように心がけ、日本人ではない友人とたくさん話すようにすることが大切でした。IELC の授業は毎日行われますが、今年度から時間帯が変わり、月水は11時から、昼休憩を挟み5時、火木は2時から5時、金曜は9時から12時という少し変則的な日程でした。夕方に授業が終わるのでそのあとは宿題をしたら1日がほぼ終わります。

授業はレベル別で HA, LA, HI, LI といった風に分かれています。それぞれ3つのクラスをとることにあり、Reading/Writing, Listening/Speaking, Integrated Skills Class とあります。Reading/Writing では Essay の書き方、速読の効果的な方法など、Listening/Speaking ではアカデミックでのトピックを扱ったリスニング、プレゼンテーションの仕方などを学びます。Integrated Skills Class では色々なレベルの人と一緒に4週間ごとに違うトピック（文学、映画、料理など）を扱う選択式の授業です。

中間の時期に一度それまでの成績が表示され、もし上の4技能のうち、A を3つ以上取れていれば上のクラスに上がることができます。また LA のクラスにいても、学期末の成績で A を3つ取れていれば UNR もしくは他のアメリカの大学への推薦状のようなものをもらえます。たとえ HA という一番上のクラスでなくても、自分の英語力が向上したという証明となるものなので、たとえその意思がなくても、嬉しいものでした。

先生たちは英語を教えるプロですので、出身国によってひっかけやすい間違いというものも把握しています。また日本の先生たちと違って、オフィスアワー以外に尋ねても嫌な顔一つせず、親身に教えてくれるので、ぜひオフィスを訪れて先生たちと話をすることを勧めます。彼らも質問をされることをむしろ嬉しく思っているのです。日本人としては質問をするのは気がひけるかもしれませんが、積極的にいろいろなことを聞いた方が自分の力にもなります。もうその機会を逃したら二度と聞く機会はないかもしれません。一瞬一瞬を大事にしてほしいと思います。

今回の留学では日本にいては学べないアカデミックライティングの書き方やプレゼンテーションの作り方、国別の訛りの特徴、特徴的な言い回し、異文化交流など多くのことを学びました。これはどのような形であれ私の将来に大きな影響を与えたいと思います。今回学んだことを生かして、日本で自分の研究、将来の進路に向けて、さらに精進していきたいと思います。

## 生活の概要に関するレポート

私はアメリカにいる6ヶ月間、大学から徒歩5分ほどのインターナショナルハウスに住んでいました。そこには各国からの留学生やアメリカ人が共同で生活しており、いろんな人との交流を目指す人には最適な環境だと思います。また日本人も何人かいるので、ホームシック、カルチャーショックにもなりにくいと思います。ここに住んでいる人たちは基本的にいい人たちで、何か必要なものがあつたりした場合にはすぐ貸してくれるので助かります。私はルームシェアをして、日常的に英語を使う環境に身を置きたかったので、バングラデシュ人との2人部屋に住んでいました。かなり訛りも強く、最初は聞き取ることに苦労しました。しかし、会話を重ねていくにつれてその訛りにも慣れて来ました。一番「慣れ」を実感したのは、彼と他の日本人と話していたときに、彼が立ち去った後、他の日本人から「よくわかるね、全然わかんなかった。」と言われたときでした。そのとき、ルームメイトとして少し誇らしい気持ちでした。彼は博士課程に進んでいて、アメリカにも何年も住んでいた上に、他のインターナショナル生と生活をした経験もあったので、一緒に暮らしていても特にストレスを抱えるようなことはありませんでした。それに関しては幸運だったと思います。また私が広島から来たということもあって、彼は平和、戦争に関しては敏感で、そのことについてよく話したがりました。そのことに関しては渡航前に平和記念式典に参加していた経験が役に立ちました。広島出身というからにはそのことについて少しは話せるようになっておくと、コミュニケーションの一助となるかもしれません。

リノは大学周りでの生活が中心となるので、どうしても気が抜けてしまいがちですが、他の町や州に行くときはやはり「危険な海外」という印象は持つべきだと思います。私は旅行でアトランタに行きましたが、そこではリノとは比べ物にならない数のホームレスがいました。リノのホームレスとは違って、彼らはまるでホームレスではないかのように話しかけてきます。しかしアトランタは南部の町なので訛りが激しく、全く聞き取れません。そして最後にお金を要求してきます。断ることもできますが、中には執念深く、ずっと付いてく人もいます。私は身を守るのが最優先と思い、2回ほど\$5ずつほど手渡しました。どこの町に行ってもそうですが、やはり一番大事なものは自分の命です。一人旅をしたいと思い、一人で旅行することが多かったのですが、やはり誰かと一緒に旅行するのが安全の面でも精神的な面でも良いと思います。

リノの気候は、山に囲まれているせいで、夏は暑く冬は非常に寒いという天候です。ちょうど東広島キャンパスのような感じだと思います。しかし唯一の違いは乾燥が激しいことです。自分自身も乾燥で唇が割れたり、喉を痛めたり、友人もかなり体調を崩している人たちもいました。なので、喉のケア、リップクリームなどは必需品だと思います。

留学中の様子 (写真)

1. International House にて



2. Reno Zombie Crawl にて



3. Japanese Talk Talk Sports Day Event

